

おぞの

尼崎市立小園小学校
平成30年2月27日
No.13

— 輝いた子ども達がいっぱい —

校長 平家祐孝

厳しい寒さも和らぎ、休み時間には上着を脱いで元気に遊ぶ子ども達が目立つようになりました。蜜を吸うメジロの姿も見られるようになり、春が近いことを感じさせてくれています。

今年は、修了式が23日と早いこともあり、3月の登校日は15日間ほどになります。今年度残りの期間を何とか元気に過ごしてほしいと願っています。

2月17日(土)、4年生以上5人1チームで構成された男子76チーム、女子79チームが参加した小学校駅伝競争大会が行われ、本校からも男子7チーム、女子8チームが参加しました。毎年ながら、自主的に大会参加しようとする意欲的な子ども達の数には驚かされます。厳しい寒さの中での朝の練習では、白い息を吐き、顔だけでなく腕や太ももまで赤くなりながら走る姿が印象的でした。結果は、本校5年女子チームが2位に20秒以上差をつけて総合優勝(!)、区間賞にも男子1人、女子6人が入賞しました。

2月20日(火)、児童会役員の引き継ぎとともに、今年新たにできた「ダンスクラブ」、音楽会や記念式典、アルカイックホールなどで演奏した「吹奏楽クラブ」、ピッコロシアターでも演じた「演劇クラブ」の発表会が体育館で行われ、体育館は全校生の大きな拍手で包まれました。

児童会は、ユーモアに満ちた演出を交えながら、3年生以上の選挙によって選ばれた新年度役員それぞれが来年にける意気込みを堂々と訴えました。

ダンスクラブの発表では、ダンスや音楽に合わせて自然と手拍子が起こりました。聞いたことのある曲は自然と体でリズムを刻む子どももいました。吹奏楽クラブの演奏は、4人の先生も応援出演しました。見ている子ども達は、普段見ることのない楽器やその音色、迫力ある演奏に聴き入っていました。30分ほどの演劇クラブの劇は、コミカルな場面もあり、笑い声が響きました。低学年に感想を聞くと、何人もが「もう1回見たい」と笑顔で答えました。

自分に限界に挑む、他者になりきって演じる、気持ちをひとつにして表現する。そのほかにも、気持ちを込めて文章をつづる、俳句を詠む、調べたことや自分の考えをみんなに伝える、美しい文字を書く、アイデアを活かして作品を作る…などなど。1年間の子どもの様子を振り返り、ある人の言葉を思い出しました。「君にしかできないことがあるから、君は生まれてきたんだよ。」

輝いた子ども達をいっぱい見ることができた1年でした。

本年度は、本校教育にご理解・ご協力・ご支援、ありがとうございました。来年度も、引き続きよろしく願いいたします。

3月行事予定



1	木	代表委員会	17	土	
2	金	6年生を送る会（5校時）	18	日	
3	土		19	月	給食終了
4	日		20	火	第48回卒業式
5	月	お別れ遠足（6年）	21	水	春分の日
6	火		22	木	
7	水		23	金	修了式
8	木	S T	24	土	春期休業（～4月8日）
9	金		25	日	
10	土		26	月	
11	日		27	火	
12	月	全校朝会	28	水	
13	火		29	木	
14	水		30	金	
15	木		31	土	
16	金				

4月の主な予定

9日（月）着任式 始業式	17日（火）全国学力テスト
10日（火）入学式	20日（金）参観・懇談
12日（木）離任式	26日（木）～5/2（水）家庭訪問

ありがとう 6年生

6年生が卒業を前に、学校の廊下のセンターラインを作り直してくれました。



まっすぐ線を引くために、グループで声を掛け合いながら作業してくれました。また、保護者の皆様のお手伝い、ありがとうございました。在校生は、センターラインを意識して右側を歩き、安全に生活していきます。